

## 大阪鉛錫

# 4N再生鉛でJIS取得

## 二次精錬で初、販路拡大へ

鉛二次精錬メーカー  
の大阪鉛錫精錬所(本  
社)大阪府西淀川区、  
廣末雅昭社長)はこの

ほど、同社製の「再生  
新鉛4N」において、  
鉛地金のJIS規格  
(日本工業規格)の純

度99・99%以上(4ナ  
イン)の「特種」認証  
を取得した。二次精錬  
メーカーでは国内で初

めて。今後は、 배터리  
以外の需要拡大にも  
努める方針だ。  
同社は廃バッテリー

(使用済み鉛蓄電池)

を主原料として再生精  
錬した鉛を、国内バッ  
テリーメーカー向けに  
納入している。鉛地金

に関しては、 배터리  
メーカーの納入規定  
にJIS規格の要求は  
ないため認証を取得し

ていなかったが、官公  
需関係で必要性が高ま  
っていることや、将来

の販路開拓のために  
も、昨年6月に取得に  
向けた取り組みをキッ  
クオフ。半年を経て12  
月14日付で取得した。

一般的な再生鉛は純  
度99・9%以上(3ナ  
イン)だが、同社製の  
再生鉛の純度は99・99  
%以上(4ナイン)を  
保証しており、実際は  
国産の電気鉛99・99  
7%(4ナイン7)に  
限りなく近い99・99

5%(4ナイン5)レ  
ベルを供給している。  
そのため、JIS規格  
の最高グレードに当た  
る「特種」もスムーズ  
に取得できた。

国内の大手一次製錬  
メーカーの多くはJIS  
取得済みだが、二次  
精錬メーカーでは初め  
ての快挙。今後はJIS  
規格を要求される官  
公庁関係向けの再生鉛

も、昨年6月に取得に  
向けた取り組みをキッ  
クオフ。半年を経て12  
月14日付で取得した。

一般的な再生鉛は純  
度99・9%以上(3ナ  
イン)だが、同社製の  
再生鉛の純度は99・99  
%以上(4ナイン)を  
保証しており、実際は  
国産の電気鉛99・99  
7%(4ナイン7)に  
限りなく近い99・99

拡販も想定され、今回  
の認証取得で需要開拓  
に弾みをつけたい(同  
社)と期待する。  
同社は高品位の再生  
鉛のほか、カルシウム  
系やアンチモン系の鉛  
合金や母合金、特殊合  
金を製造する再生鉛の  
総合メーカー。201  
1年に竣工した西島事  
業所(大阪市此花区)  
を精錬・精製・鑄造の  
拠点としている。